

宮崎大学農学部生のフィールド実習が行われました！

8月9日（火）に宮崎大学農学部森林緑地環境科学科の学生48名による農業農村整備事業についての現地実習が行われました。

今回の実習は、農業用水施設等についての役割や必要性を学ぶことを目的として実施されたもので、当日は、畑地かんがいとして、国営かんがい排水事業で建設された切原ダムと末端で使用される散水器具を、また、水田用水の取水施設として、建設に尽力された児玉久右衛門翁のビデオを含めた杉安頭首工を、そして、排水ポンプ施設として横江排水機場について研修を行い、最後に農業科学公園にて口蹄疫についてのビデオを見て終了しました。

今回の研修は、1年次生が対象でしたので、説明時の言葉など理解できないものがあったかもしれませんが、皆さん熱心に説明に耳を傾けメモを取っていました。

数年後、この学生の中から一緒に働く方が出てくればうれしい限りです。



切原ダムでの研修



横江排水機場での研修

【児湯農林振興局】